

例会報告 週報 No.24

【開催日】令和8年2月24日(火) 18:30 開会
 【例会場所】要害クラブ 【進行】朝日会員
 【プログラム】卓話 / 新入会員



会長の時間

佐藤会長



会長の時間をいただきます。

本来であれば新入会員卓話のプログラムでしたが、本年度はまだ新入会員がいないということで、急遽、昨年入会された須田早苗さんと宮本さんに卓話をいただくこととしました。快く引き受けてくださりありがとうございます。入会されて1年経ち、思うこと等をお話したいかと思います。

今日は、オブザーバーとしてお二方にお越しいただいております。株式会社ヒタチの杉山様と長福寺のご住職である原様です。ロータリーに興味を持っていただき、ぜひご入会いただければと思います。

以上、会長の時間といたします。ありがとうございました。



幹事報告

千葉幹事

- 2026年度の米山奨学生の配置連絡が来ております。水戸RCの準世話クラブとなります。
- 3月14日ローターアクト週間に献血事業を行うそうです。参加される方はご連絡ください。
- 3月15日に地区補助金管理セミナーが開催されます。小野瀬次年度幹事が出席予定です。
- 3月21日、会長エレクト・ラーニングセミナーが開催されます。私が出席予定です。



出席報告

森委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
34名	16名	18名	51.6%	-名	-%	5名



ニコニコBOX

森委員長

- ◇ 須田さん宮本さん、本日卓話よろしくお祈いします。佐藤会長
- ◇ 結婚記念日のお花ありがとうございました。鹿志村高道、河村秀樹



本日もニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました



本日計	7,000円	累計額	183,000円
-----	--------	-----	----------



プログラム

卓話

入会1年を振り返って

宮本会員



- みなさんこんにちは。本日はお時間いただきありがとうございます。本日は1年を振り返り感じたこととお話したいと思います。
- クラブの例会に参加することは、毎回緊張感があります。それはなぜかと言いますと、会員の皆様はそれぞれの時代において、会社を守り、地域を支えてきた方々だというふうに思うからです。
- 皆様のお時間を今日頂戴するにあたり、皆様の時間を時給換算にしますと、15分で2万円もの時間をいただくこととなります。
- ビル・ゲイツやスティーブ・ジョブズも時間の大切さをおっしゃっています。
- 私も持病があり、時間の大切さを実感しています。
- ロータリークラブといえば、四つのテストです。「真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深め

るか みんなのためになるかどうか」と毎週歌っていると、視座と言いますか、蟻の目鳥の目と言いますか、そういう感覚なんだと思っています。

- 社会貢献というと、政治家になったりボランティア活動をしたりが一般的ですが、今は社会起業家であると自分で思っています。
- 数名で始まったロータリークラブが世界的規模にまでなったということはすごいなと思います。
- 当クラブでも、長年ロータリークラブで活動している先輩方を見ていますと、私も本腰を据えていきたいと思うようになってきています。
- 職業がバラバラでも、志は一緒なのだと思います。
- 最近、弓野さんがおっしゃった一言が刺さりました。「多賀の街を飲み歩き金を落とさないでなにがロータリーアンだ」という豪快な言葉です。
- 地域貢献や若者の未来を見ていくことが、自分の事業にもつながると感じ始めました。
- いずれは、クラブを支える側の人間になっていきたいと思いました。
- 四つのテストは生き方そのものです。平等な時間を誰と過ごすか、誰に使うかということも考えるようになりました。これからもよろしく願いいたします。
- ご清聴ありがとうございました。

入会1年を振り返って

須田早苗会員



- 今日はこのような時間をいただきありがとうございます。ロータリーについては、先日 IM に発表させていただきましたので、違う話をいたします。
- 皆様の心のコミュニケーションに少しでもお役に立てるお話をさせていただきます。
- 私はコミュ障です。大勢の中にいるのは得意ではあ

りません。そう言いながら、仕事では言葉を使う仕事をしてきました。

- 接客の仕事をしているときに、コーチングの勉強も始めまして、対話の重要性であるとか、伝えるためのスキルを身につけてきました。
- 今日はその一例をお伝えしたいと思います。
- 話すことというのは、伝えることではありません。対話ができないと、意思疎通がうまくいかないということが起きます。
- 会話と対話はなんでしょう。会話は、広く浅く表面的な情報共有の話です。対話は、狭く深く内面を話すことです。課題解決に必要なのは対話です。
- 組織のトップに必要なのは、対話です。対話の肝は、話すこと伝えることではなく、聞く力と問う力です。
- 相手が腑に落ちなければ伝わりません。自分ごとにしないから動きません。納得しないと動きません。
- 聞く力には4つのレベルがあります。
- レベル1は、頷きながら言葉の表面を受け止めることです。
- レベル2は、言わんとしていることを聞いていることです。要約できたりおうむ返ししたりして、相手との安心感、信頼感につながります。
- レベル3は、言っていないことも聞こえています。相手の表面ではなく、背景や感情を先回りして拾って提案します。優れた方はここを心得ています。
- レベル4は、本人も気づいていないことも聞きます。これはコーチの領域で、自覚していない心の奥底にあるものを、うまく引き出して言葉にしていきます。
- コミュニケーションの良し悪しが組織の風通しに影響し、ひいては生産性や業績に結びつくということは皆さん容易に想像できると思います。
- 企業の人材不足も続いています。離職理由は人間関係が一番多いそうです。昔も今もそうです。
- 会社を居心地の良い場所と思ってもらえるのが、今の時代最強ではないかと思います。その源となるのが、上司と部下、同僚との会話です。
- リーダーの方には、対話スキルを上げていただくことが大切だと思います。
- ご清聴ありがとうございました。

会長の点鐘をもって閉会。

Rotary  日立南ロータリークラブ

■会長：佐藤信彦 ■副会長：千葉隆一
■幹事：千葉隆一 ■会報委員：石川香

【例会場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020
【例会日】 毎週火曜日 12:00~13:00
【事務所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第2ビル 201号室
TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
Mail: info@hitachi-south-rc.org

次回例会： 令和8年3月3日（火） 【プログラム】卓話 / 会場監督（SAA）